

平成30年度東広島市教育委員会主催・広島大学マスターズ共催市民講座

「フランス語で短編を読んでみよう」実施報告

広島大学マスターズ会員 原野 昇

19世紀フランスの短編小説のなかから毎回1編を取り上げ、全体を日本語訳で読んでいき、その一部をフランス語で読んでいった。取り上げを予定していたのは以下の4作品。

第1回（6/1）プロスペル・メリメ『マテオ・ファルコネ』

第2回（6/15）ギ・ド・モーパッサン『真珠の首飾り』

第3回（6/29）アルフォンス・ドーデ『コルニーユ親方の秘密』

第4回（7/13）アルフォンス・ドーデ『アルルの女』

しかし、第4回は大雨災害のため中止となったので、全3回となった。

フランス語学習歴は、初心者から上級者まで大きな差があったが、各作品全体の日本語訳が用意してあったので、各自それぞれのフランス語の力に応じて学ぶところがあったようで、みなさん満足だったようだ。

